

〈資料〉

自然文化誌研究会冒険探検部創設40周年記念

『第35回環境学習セミナー』～環境学習の源流から未来へ～

【プログラム】

日時：2015年10月10日(土)

会場：植物と人々の博物館
(山梨県小菅村中央公民館)

13:00～

[第1部] 源流を探る・ふりかえる

(司会進行：中込卓男)

- ・探検部草創期(1975年頃)：中込卓男、柴田一
- ・子どものための冒険学校・五日市時代(1988年頃)：佐藤雅彦
- ・大滝村・エコミュージアム(1990年代)：小川泰彦
- ・タイ環境学習キャンプ(1990年代)：中込貴芳
- ・ぬくい少年少女農学校～ちえのわ農学校(2001年頃)：菱井優介
- ・小菅村～現在(2004年頃)：黒澤友彦

16:00～

[第2部] どのような未来へ行くか?

(司会進行：中込貴芳)

基調講演

- ・亀井雄次氏(小菅村商工会・観光協会・自然文化誌研究会理事)
- ・塚原東吾氏(冒険探検部創設者)
- ・木俣美樹男(自然文化誌研究会 学芸大学探検部創設者)

19:00～

朝まで宴会(小菅村の船木民宿にて)

【案内文】

関係各位

本会が設立されて40年になります。そこで、40周年記念企画として「環境学習の源流から未来へ」と題し、第35回環境学習セミナーを開催します。懐かしさも交えながら、ぜひご参加していただきたく、案内を送らせていただきます。

約40年前、1975年に東京学芸大学内で創設された「自然文化誌研究会(学大探検部)」と、1981年に創設された「東京学芸大学冒険探検部」は、1985年に合併し、「自然文化誌研究会冒険探検部」となりました。その後、五日市や大滝村を経て、2004年に「NPO法人自然文化誌研究会」としてNPO法人となり、山梨県小菅村に拠点をもち、現在に至ります。

その間に、現役学生を中心とした学大冒険探検部は継続し、子どものための冒険学校～ぬくい少年少女農学校を経て「サークルちえのわ」も誕生しました。

今回のセミナーでは、40年間の軌跡をたどり未来を展望していきます。

【当日の出席者(順不同・敬称略)】

木俣美樹男、中込卓男、中込貴芳、小川泰彦、黒澤友彦、立川信史、岩谷美苗、塚原東吾、佐藤雅彦、大窪青樹、菱井優介、宮本透、鈴木英雄、柴田一、横山緑、埴拓真、井上典昭、日比野真士、山中進、由本圭、佐川勝史、吉澤武史、木下稔、亀井雄次、間瀬貴久、杠駿平、小川高宏
※東京学芸大学関係者のほかに、小菅村関係者、「子どものための冒険学校」の当時参加者などが集まった。

写真集



探検部草創期（中込卓男）



探検部草創期（柴田一）



子どものための冒険学校・五日市時代（佐藤雅彦）



大滝村・エコミュージアム時代（小川泰彦と大滝村の民宿中津屋の山中進）



冒険学校のころ（中央男性は小川泰彦）



冒険学校のころ（中込卓男）

写真集



小菅村～現在（鈴木英雄）



タイ環境学習キャンプ（中込貴芳）



基調講演（亀井雄次）



基調講演（塚原東吾）



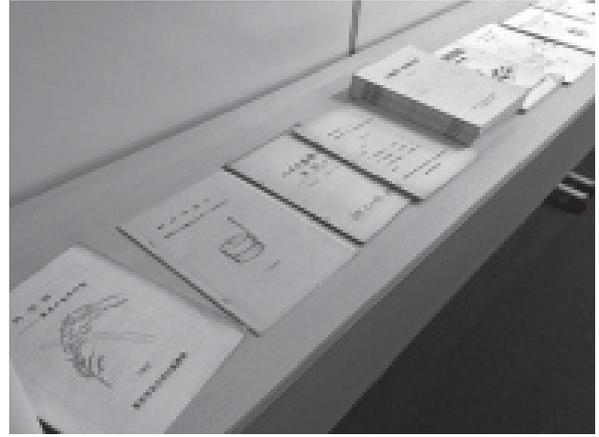
基調講演（木俣美樹男）



宴会 小菅村松木民宿にて



最初に発行した『自然と文化』



1983年ころの『野外学習』ほか



1990年以降に入ってから『冒探王』



「環境教育報告」「大滝村のマップ」など



40周年記念に発行された『冒険学校のあゆみ』



最近発行を続けている『民族植物学ノオト』